

# ハイエト・ハイドロ表示ツール

---

## 説明書

2015年03月09日版

## 變更履歷表

[illegible]

(注) 変更区分欄には、追加、削除、更新等の変更方法を書く。

# 目次

---

第 1 章 概要 .....	1
1.1. 機能機能 .....	1
1.2. 要求仕様 .....	2
1.3. 起動方法 .....	3
第 2 章 操作 .....	4
2.1. ハイエト・ハイドロの表示.....	5
2.2. 描画設定の保存 .....	8
2.3. その他出力.....	10
2.4. 入力データフォーマット .....	12

# 第1章 概要

本章では、ハイエト・ハイドロ表示ツールの概要について記述する。

## 1.1. 機能

- 本ツールは、CommonMP ツールとして開発する。
- 予め別途要素モデルで計算した水位・流量データ、断面データ等を読み込み、グラフ表示を行う。
- 水位、流量データについては、各データの重ね書きが可能とする。
- 雨量データ、断面データについては、選択したデータのみ表示が可能とする。

以下に、モデル概念図を示す。

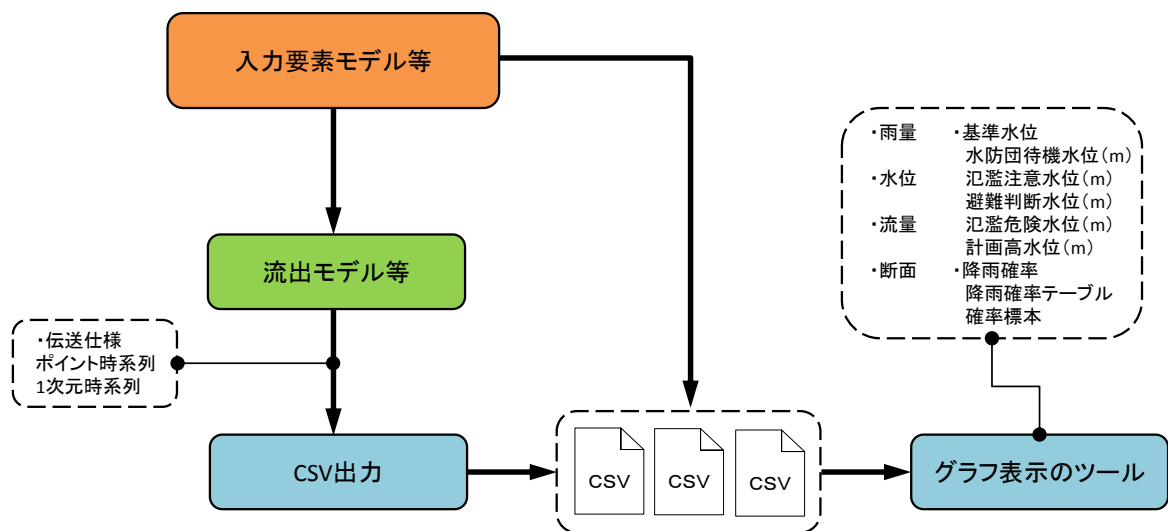
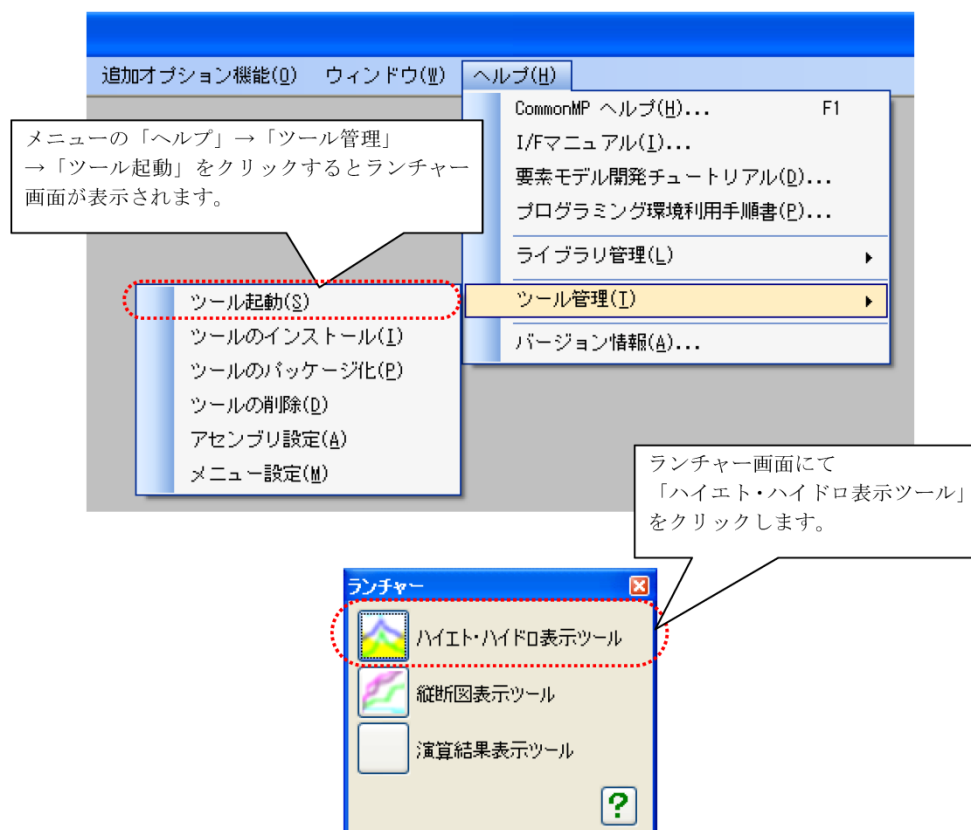


図 1.1 モデル概念図

## 1.2. 要求仕様

No	項目		内容
1	DLL 名		jp. go. nilim. HyetoHydroGraph_H26. dll
2	名前空間		jp. go. nilim. HyetoHydroGraph_H26
3	クラス名	Define ViewerJobFactory ViewerJob ScreenFactory Screen	McGraphDefine McGraphViewerViewerJobFactory McGraphViewerViewerJob McGraphViewerScreenFactory McGraphViewerDotNetScreen
4	業務種別識別子		jp. go. nilim. HyetoHydroGraph_H26
5	画面ファクトリ ID		jp. go. nilim. HyetoHydroGraph_H26. Factory. Screen
6	ビューア内ファクトリ ID		jp. go. nilim. HyetoHydroGraph_H26. Factory. ViewerJob
7	モデル名称 (Name)		ハイエト・ハイドロ表示モジュール
8	概要 (Summary)		水位・流量データから、雨量データ、断面データの表示を行う。
9	プロパティ		なし
10	初期条件		なし
11	モデルの基底クラス		HySDotNetAddInBaseForm
12	フロー・処理内容	計算	<p>①雨量・水位・流量・断面データのデータファイルを指定する。</p> <p>↓</p> <p>②リストボックスからデータが選択された場合には、そのデータをグラフに表示する。</p>

## 1.3. 起動方法





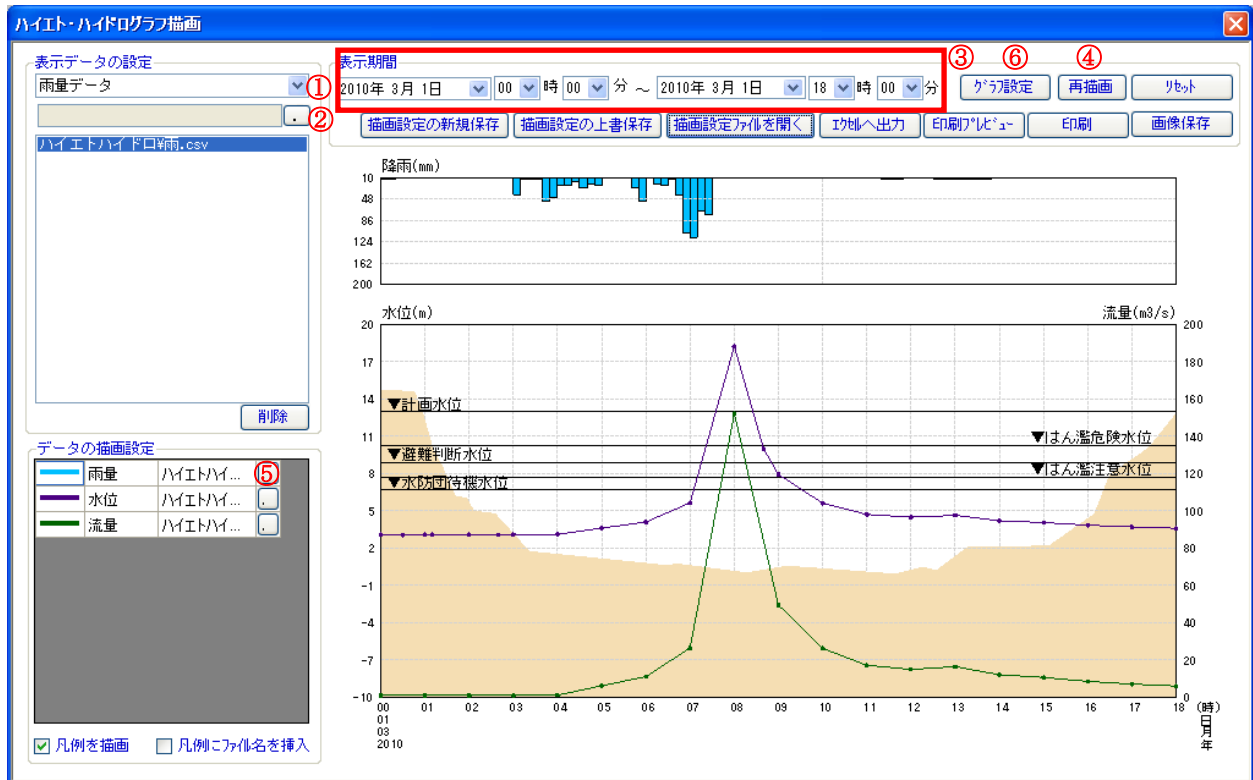
## 第2章 操作

---

本章では、ハイエト・ハイドロ表示ツールの操作について記述する。



## 2.1. ハイエト・ハイドロの表示



1. 「表示データの設定」 (図①) において下記のいずれかを選択する。
  - ・雨量データ
  - ・水位データ
  - ・流量データ
  - ・断面及び基準線データ
2. 該当ファイルを選択する。(図②)
  - (1) 雨量データ／断面及び基準線データの場合は、ファイルを選択した時点で該ファイルのデータを表示する。
  - (2) 水位データ／流量データの場合は、リストからファイルを選択すると該ファイルのデータを表示する。
3. 表示期間を変更したい場合は、表示期間を指定し (図③)、**再描画** ボタン (図④) を押下する。

4. 表示するデータの色等を変更したい場合は、「データの描画設定」の該データのボタン（図⑤）を押下し、下記の画面で変更してから、**再描画** ボタン（図④）を押下する。

①雨量データの場合

色: ■ ...

☐ ライン

線種 — ▼

太さ — ▼

☐ ポイント 大きさ 4 ▲▼

OK キャンセル

②水位データ／流量データの場合

色: ■ ...

☒ ライン

線種 — ▼

太さ — ▼

☒ ポイント 大きさ 4 ▲▼

OK キャンセル

5. グラフ設定 ボタン（図⑥）を押下し、軸の設定等が変更できます。変更した際は、**再描画** ボタン（図④）を押下する。

グラフ設定

ハイトグラフ

軸ラベル

降雨(mm)

Y軸最大

200

Y軸最小

10

ハイドログラフ

【水位】

軸ラベル

水位(m)

Y軸最大

20

Y軸最小

-10

【流量】

軸ラベル

流量(m<sup>3</sup>/s)

Y軸最大

200

Y軸最小

0

その他

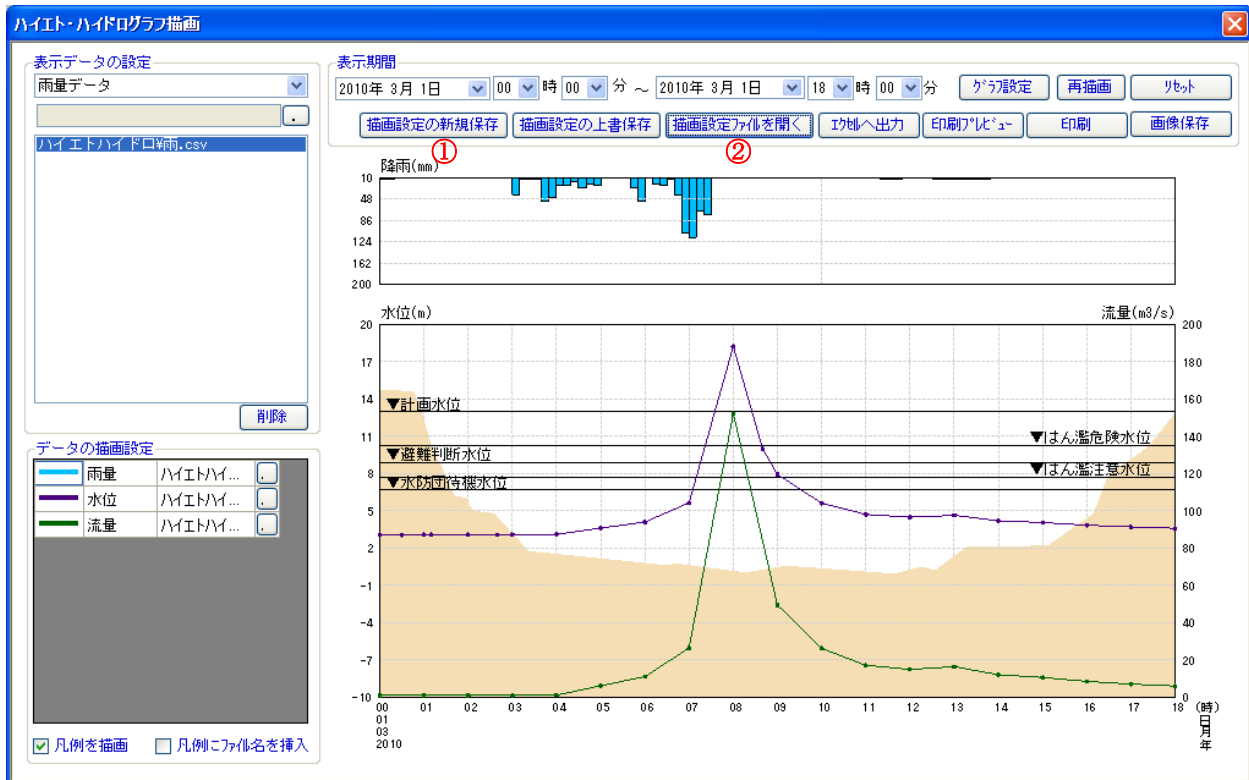
文字サイズ

8

※最大値は目盛幅の間隔によって若干変更されます。

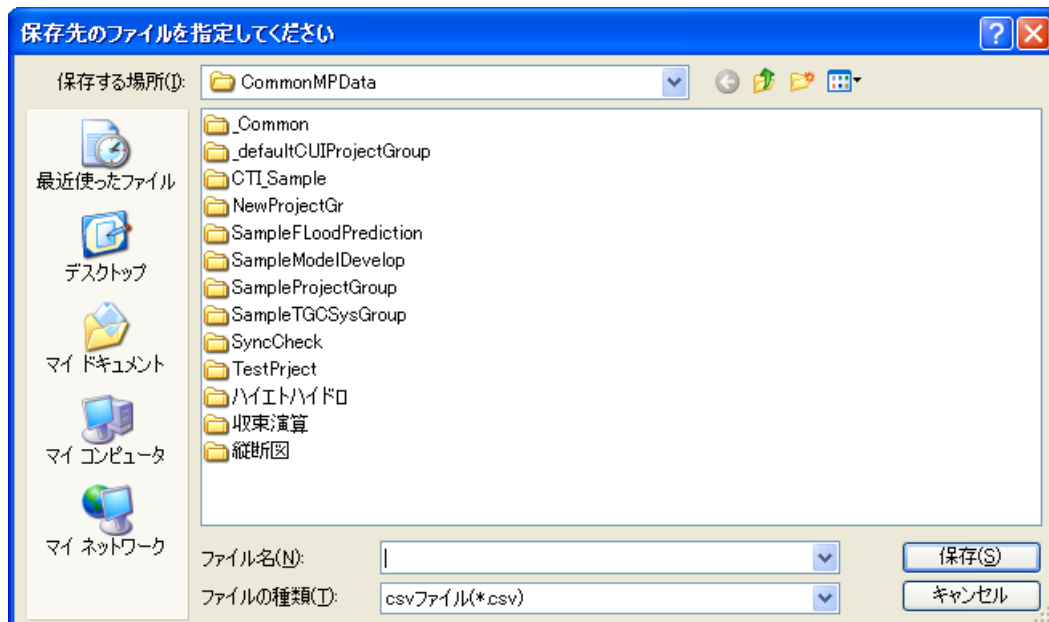
グラフ設定

## 2.2. 描画設定の保存

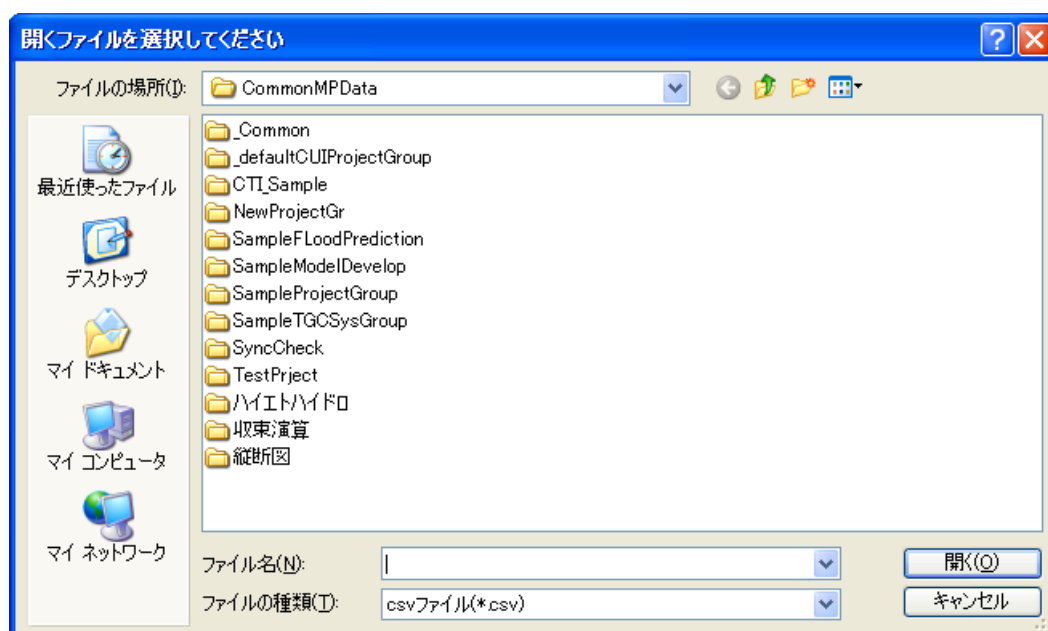


1. 表示中の描画状態を新規に保存する場合は、**描画設定の新規保存** ボタン (図①) をクリックする。

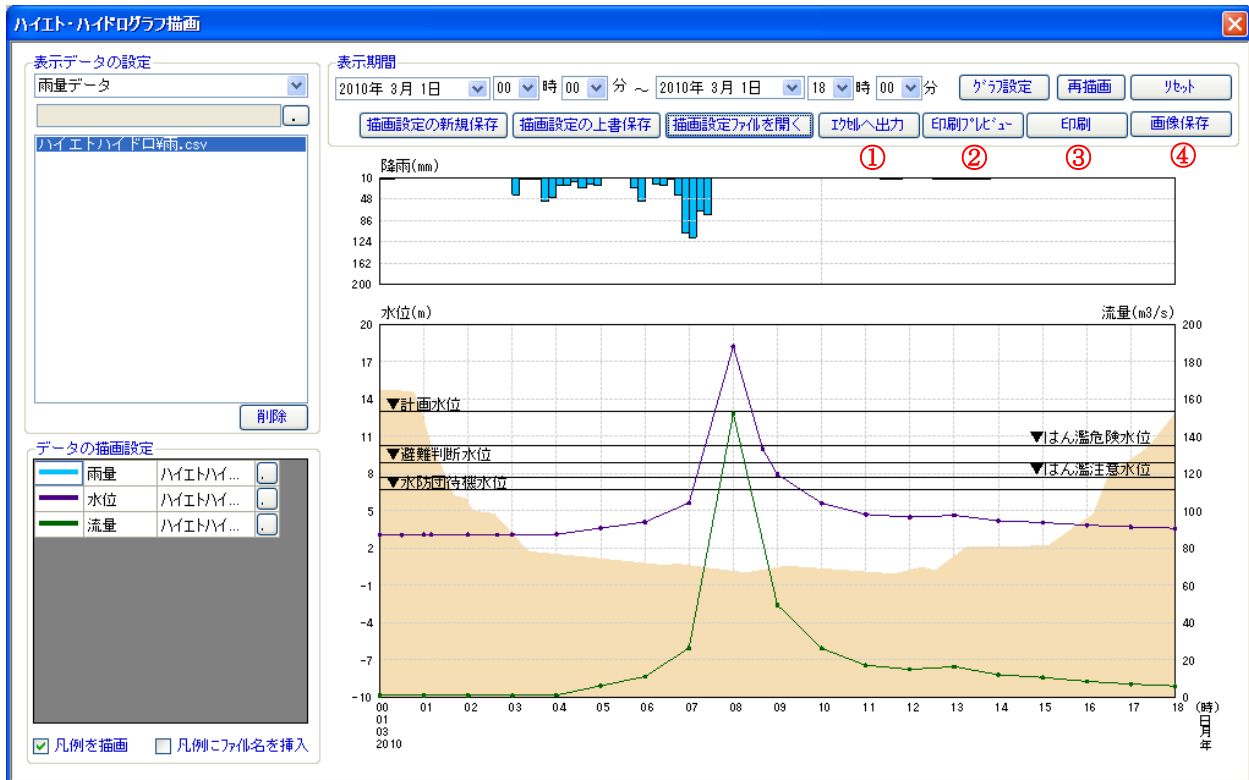
下記の画面にてファイルの保存先を指定し **保存** ボタンを押下する。



2. 保存済の描画状態を復元する場合は、**描画設定ファイルを開く**ボタン（図②）をクリックする。  
下記の画面にてファイルを指定し**開く**ボタンを押下する。

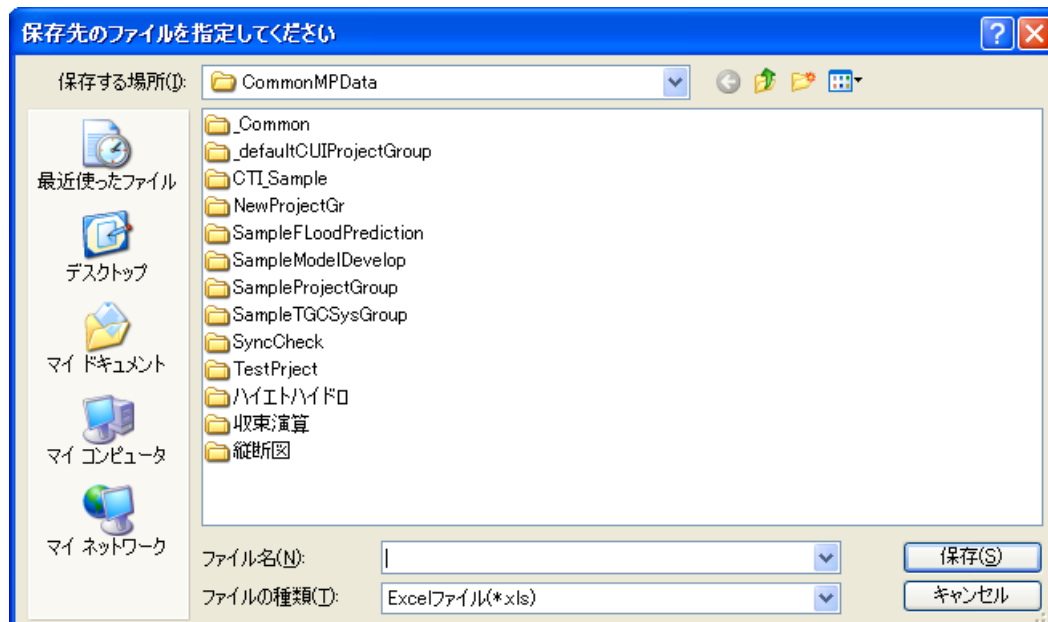


## 2.3. その他出力

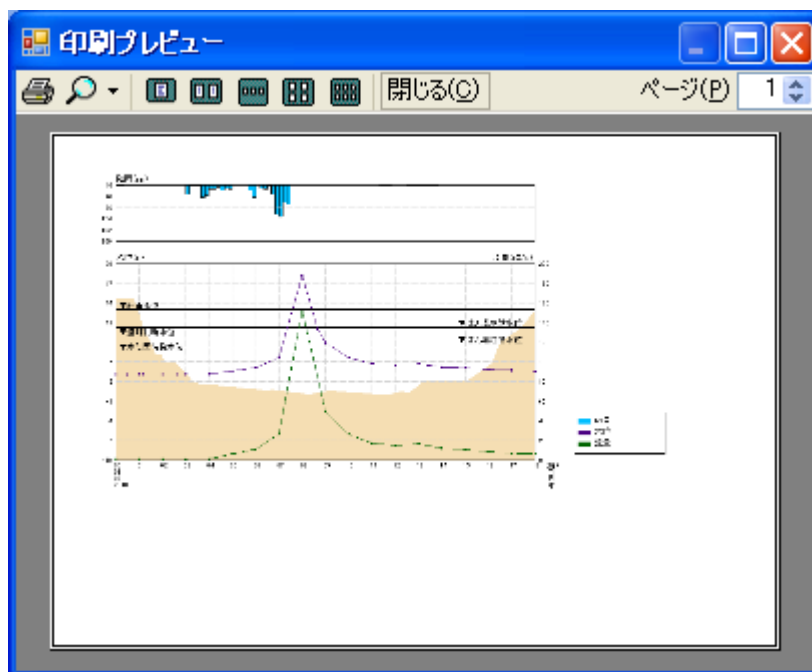


1. 表示中のグラフデータをエクセルに出力する場合は、**エクセルへ出力** ボタン (図①) をクリックする。

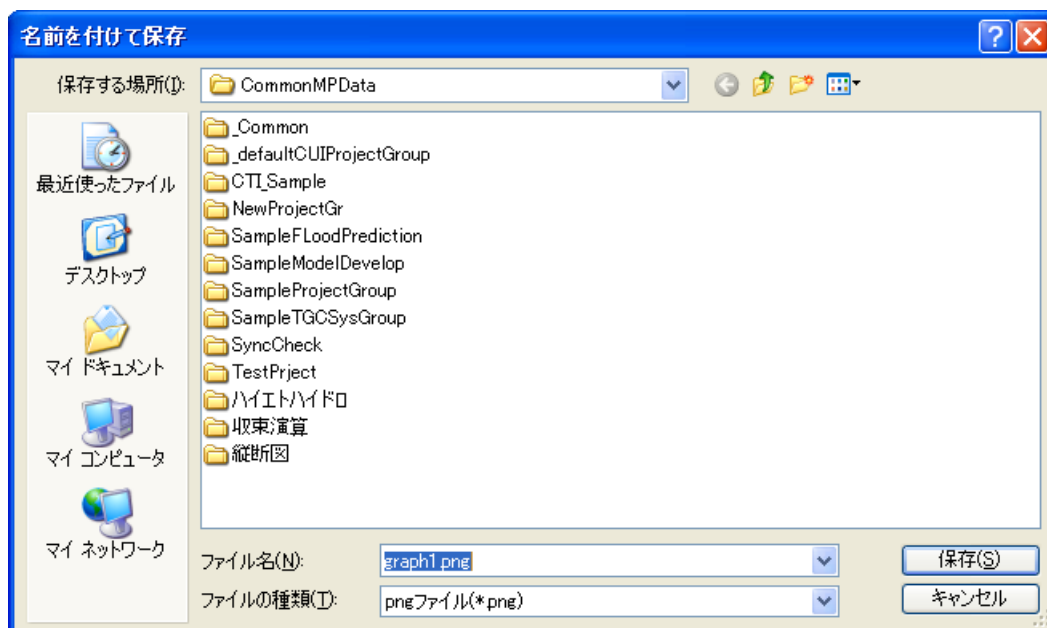
下記の画面にてファイルの保存先を指定し **保存** ボタンを押下する。



2. 表示中のグラフを印刷プレビューする場合は、**印刷プレビュー** ボタン（図②）をクリックする。  
下記の印刷プレビュー画面が出力される。



3. 表示中のグラフを印刷する場合は、**印刷** ボタン（図③）をクリックする。  
印刷ダイアログ画面が出力される。
4. 表示中のグラフを画像保存する場合は、**画像保存** ボタン（図④）をクリックする。  
下記の画面にてファイルの保存先を指定し **保存** ボタンを押下する。



## 2.4. 入力データフォーマット

表示対象となる入力データのファイルフォーマットは、CommonMPの1次元配列時系列のCSVファイル形式である。

1. 以下フォーマットの雨量、水位、流量データファイルを入力する。

<csv ファイルの例>

HySCSVFileData,Ver1.0 データ区分, 時系列 Time, Data0 2002/7/9 10:00,2.7 2002/7/9 11:00,3.13 2002/7/9 12:00,3.94 2002/7/9 13:00,4.64 2002/7/9 14:00,4.73 2002/7/9 15:00,4.78 2002/7/9 16:00,4.86 2002/7/9 17:00,4.93 2002/7/9 18:00,6.36 . . .	1次元時系列 CSV 標準ヘッダー
---	-------------------

2. 以下フォーマットの断面データファイルを入力する

<断面データの例>

●基準水位(m) 5 水防団待機水位,3.7 はん濫注意水位,4.7 避難判断水位,4.9 はん濫危険水位,5.3 計画水位,6.99 ●累加距離 X(m),高さ Y(m) 24 0,10.71 3.2,10.79 12.5,10.59 15,10.35 19.5,7.9 :	基準水位の数を指定する
	断面座標の数を指定する